

□講義科目（専門科目）

科目名	社会福祉政策論（隔年開講、2022年度開講）	2単位
担当者	藤森 克彦	
テーマ	単身世帯を切り口に日本の社会（福祉）政策を考える	
科目のねらい	<p>&lt;キーワード&gt; 1. 単身世帯、2. 所得再分配、3. 社会的孤立、4. 貧困、5. 福祉国家レジーム</p> <p>&lt;内容の要約&gt; 本科目では、前半で、日本の社会（福祉）政策—とりわけ社会保障制度—について、国際比較を交えながら、日本の生活保障の特徴と限界を考える。 後半では、単身世帯を切り口に、日本の社会（福祉）政策を考察していく。日本では、生活上の様々なリスクに家族が大きな役割を果たしてきた。しかし、世帯規模が縮小し、家族の支え合い機能が、従来よりも弱くなっている。単身世帯の増加は、その象徴といえる。そこで、単身世帯の増加の実態と生活上のリスクを考察しながら、社会保障政策、労働政策、財政政策などを総合的に考察していく。</p> <p>&lt;学習目標&gt; ・社会（福祉）政策の役割を説明できる。 ・単身世帯の増加の実態とその要因を説明できる。 ・貧困や社会的孤立の実態を把握し、社会（福祉）政策の内容と課題を説明できる。</p>	
授業の進め方	<p>第1講 インTRODクシヨン／社会福祉政策とは何か 第2講 日本の社会福祉政策の仕組み 第3講 国際比較を通して、日本の貧困を考える 第4講 国際比較の視点からみた日本の社会保障の特徴 第5講 所得再分配の効果をめぐる議論と実態 第6講 福祉国家類型論 第7講 単身世帯の増加とその要因① 第8講 単身世帯の増加とその要因② 第9講 単身世帯の生活上のリスク—貧困、社会的孤立、介護① 第10講 単身世帯の生活上のリスク—貧困、社会的孤立、介護② 第11講 単身高齢世帯の国際比較——米国、ドイツ、スウェーデンとの比較 第12講 単身世帯予備軍 第13講 単身世帯と「身寄り」問題 第14講 単身世帯の増加に対する対策 第15講 まとめ講義</p>	
事前学習の内容・学習上の注意	<p>・講義の中では「考えること」を重視するため、教員から学生に問いを投げかけ、学生に発言を求める対話型の講義を行っていく。 ・第1講から第6講までは、日本の社会（福祉）政策について講義を行う。第6講以降は、単身世帯を題材にして、社会（福祉）政策を考える。 ・講義終了後、学んだ内容を指定テキストや参考文献によって確認しておくこと。</p>	
テキスト	藤森克彦『単身急増社会の希望』日本経済新聞出版社、2017年	
参考文献	<p>権丈善一『ちょっと気になる社会保障V3』勁草書房2020年 権丈英子『ちょっと気になる働き方の話』勁草書房2019年 権丈善一『ちょっと気になる政策思想』勁草書房2018年 権丈善一『ちょっと気になる医療と介護』勁草書房2017年 駒村康平・山田篤裕・四方理人・田中聡一郎・丸山桂『社会政策—福祉と労働の経済学』有斐閣、2015年 厚生労働省『平成24年厚生労働白書』（「第1部 社会保障を考える」を活用）以下のHPより、ダウンロード可。 <a href="http://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/12/">http://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/12/</a></p>	
成績評価方法と基準	ディスカッションへの参加度（30%）、最終講義後に提出を求める課題レポート（70%）を合わせて、総合的に評価する。総合評価60点以上を合格とする。	